

赴任3ヶ月

御南小へ赴任して楽しみにしていること

岡山市立御南小学校 教頭 松原 篤志

4月の異動で御南小学校へ赴任してまいりました。もともと私は芥子山小、操南小、西大寺小、中山小、富山小、伊島小と岡山市内の小学校に勤務していましたが、3年前に赤磐市にあります山陽西小学校に異動しました。

前任校は山陽団地の真ん中に位置し、学区や周辺には、弥生公園など数多くの古墳や、桃畑などの自然があります。昭和49年に開校し、学校規模も拡大の一途をたどり、昭和60年ごろには児童数が約1400人のマンモス学校でした。しかし、学区の若年層の転出により、児童数は年々減少し、昨年度の児童数は170人で、今では小規模校になっています。そんな山陽西小の子どもたちは、御南小学校より広い敷地と豊かな自然の中でのびのびと育っています。

農業のさかんな赤磐市で3年間過ごしたのですが、楽しみの中の一つがおいしい桃が食べられることでした。桃にもいろいろな種類があり、白鳳、サンゴールド、黄金桃、清水白桃など6月から9月にかけていろいろな味が楽しめます。さらに桃だけではなく、春にはイチゴ、夏にはスイカ、秋にはマスカットやブドウや梨と、季節ごとにおいしい果物が食べられ、しかも無料でいただいたり、買ったとしても、とても安価（清水白桃が1個100円程）に購入できたりします。



このように食べることが大好きな私が御南小学校に来てから楽しみにしていることは「ラーメン」です。この辺りには、以前からよく行っている「かたやま」「小紫」「ばり」「天下一品」「香徳園」などがあります。そこ以外にも、まだ大人気で行けていない「一蘭」や行ったことがないラーメン屋に行き、新しいお店を開拓したいと考えています。コロナ禍の今はなかなか行くことができませんが、落ち着いたら、いろいろなラーメン屋を巡りたいと思っています。

誇りに思う御南中学校に赴任して

岡山市立御南中学校 校長
河合 浩一

ふれあい新聞への寄稿の機会を与您いただき、ありがとうございます。139号という長きにわたって新聞の発行を続けていらっしゃることに心より敬意を表します。

私の前任地は津山市ですが、地元は岡山で十数年前に御南中学校に教諭として勤務した経験があります。私が本校生徒を誇りに思うことの一つに挨拶があります。朝夕に校門に立っている時、廊下ですれ違う際など、気持ちのよい挨拶ができる生徒が多く、これもご家庭や地域における実践のおかげと感謝しているところです。

さて、「流れつきせぬ笹ヶ瀬に」と校歌に歌われるように、本校の学区には四季折々に美しい笹ヶ瀬川が流れています。エジプトはナイルの賜物という言葉にならって表現すれば、御南は笹ヶ瀬の賜物と言ってよいでしょう。岡山平野は旭川をはじめとする大河川の運ぶ土砂の堆積で形成されましたが、御南地区には笹ヶ瀬川の流れが造った大地が広がっています。

本校の敷地は、もともと昭和初期の堤防改修工事によって生まれた廃川地で、校門前のゆるいカーブの道路は、かつての堤防だったと聞いています。学校に残る古い航空写真では、河川敷だった場所を有効に活用した広い敷地と木造校舎、そして周囲に一面に広がる田んぼを見ることができます。

学校ができてから七十数年の歳月が過ぎました。大きな道路がついてお店も増えただけでなく、多くの人に恵まれています。ますます発展を遂げている御南学区に、本校は教育面で地域貢献できたらと考えています。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、本校の活動の様子はホームページで随時発信していますので、ご覧いただけたら幸いです。

URL <https://sites.google.com/giga-city-okayama.jp/minanc> です。